

都市再生整備計画(第4回変更)

お や べ し ちゅうしんきよてんさいせい ち く
小矢部市中心拠点再生地区
(都市再構築戦略事業)

と や ま お や べ し
富山県 小矢部市

平成31年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	とやまけん 富山県	市町村名	おやべし 小矢部市	地区名	小矢部市中心拠点再生地区(都市再構築戦略事業)	面積	52.5 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

目標 ・公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生を図る。 ・公共施設の合築による都市機能集約化の促進を図る。 ・市内外からの来街者を中心市街地へ誘導し、中心市街地の「活性化」と「にぎわい」の創出を図る。		
目標設定の根拠 都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方えを含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針) 本市は、北陸自動車道や東海北陸自動車道、能越自動車道の高速道路が交差するほか、あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)が市域の東西を通過するなど、交通の要衝であることから県の西の玄関口としての役割を担ってきた。また、平成27年3月には、北陸新幹線の東京～金沢間の開業により、交流人口の増大や地域産業の活性化等が期待されている。 現在の小矢部市は、昭和37年に石動町と砺中町の合併により誕生し、石動、津沢の両市街地を核に発展してきた。石動市街地は、あいの風とやま鉄道石動駅を核に形成されているが、モータリゼーションの進展による都市間競争の激化やショッピングセンター、公共施設の郊外化等に伴って、かつての賑わいがみられない状況となっている。また、人口減少、少子高齢化により店舗の閉鎖、撤退が相次ぎ、中心市街地の空洞化が進み、都市としての求心力も低下している。 こうしたことから、地域交通網の拠点である石動駅を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置付け、老朽化した公共施設の中心市街地内部での集約・更新や歴史的建造物の交流拠点としての再活用等により、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、多くの人々が集う賑わいのある中心市街地へと再構築を行う。		
まちづくりの経緯及び現況 石動駅周辺は、古くからの歴史を有する駅北口一帯を中心として、商業機能等の集積が進み発展してきた。一方、駅南は工業機能の立地が一部にみられるのみで、駅南北市街地の機能立地に格差がみられた。このため、駅周辺部のバランスのとれた市街地形成及び将来の都市発展に向けて新規機能の受け皿となる用地を確保するために、石動駅南第一土地区画整理事業をはじめとする組合土地区画整理事業によって、段階的に駅南側の基盤整備を図ってきた。 また、同時に「中心市街地整備改善活性化基本計画」や「石動駅南土地区画整理事業将来ビジョン」等を策定し、石動駅周辺の顔づくりや土地利用計画等を検討してきた。 さらに、石動駅北側の既成市街地と駅南側の区画整理事業による新たな市街地との連携を強化し、駅周辺地区を中心とした一体的なまちづくりを推進するため、「石動駅周辺整備計画」を策定し、取り組みを推進している。 こうした中、平成26年度に策定される「小矢部市都市計画マスタープラン」においては、石動駅周辺をにぎわい創出拠点に位置づけ、鉄道利用者の利便性向上に資する整備や本市の玄関口にふさわしい顔づくりを進め、多くの人々が集散し、にぎわいを創出する拠点の形成を図ることとされている。 また、平成25年11月に「小矢部市行政改革推進市民会議」より小矢部市公共施設の在り方に関する意見書が提出され、その中で、総合会館、石動コミュニティセンター、勤労青少年ホームを再編統合する方向での検討を求められている。その際には、石動コミュニティセンター及び勤労青少年ホームを廃止し、これら施設の機能の一部を総合会館に集約することを前提とした改築及び改修を基本とする旨の意見が示されている。		
課題 ①石動駅周辺の一体的なまちづくり ・石動駅周辺は、あいの風とやま鉄道の軌道により南北が分断されていることから、駅へのアクセスも北側に限定されている。このことから南側からスムーズに石動駅や中心市街地へアクセスできる通路の整備が望まれている。 ・「石動駅南土地区画整理事業」(平成29年度完成予定)により整備された土地の利活用を促進させるため、石動駅との一体的な整備や中心市街地へアクセスできる通路の整備が望まれている。 ②石動駅周辺の基盤整備の促進と機能強化 ・旧JR北陸本線は、平成27年3月に第三セクター会社のあいの風とやま鉄道(株)に移行されており、これまで以上に地域に密着した運営とともに、更なる利用促進が求められている。このため、石動駅周辺の利用促進には土地区画整理事業による駅を中心とした市街地開発とともに、複合機能を有した駅舎や、パークアンドライド駐車場の整備による、駅を中心とした賑わい創出が有効な方策とであり、早急に進める必要がある。 ③中心市街地の空洞化防止 ・老朽化した公共施設の建て替えにあたっては、地域に必要な施設との合築を推進するなど、都市機能の拡散防止に資する施策が求められている。		
将来ビジョン(中長期) 【第6次総合計画】(H23) ・「生活基盤づくりプロジェクト」 本市の優れた自然環境を活かしながら、土地区画整理事業や公園・緑地の整備 による魅力ある市街地の形成、鉄道やバスをはじめとする地域交通網の充実等を進め、誰もが住みたい、住みたいと感じるまちづくりを目指す。		
・「石動駅周辺“賑わいゾーン”構想」 石動駅周辺について、駅南土地区画整理事業にあわせて、歩行者の南北自由通路に加え、車が常に行き来できるよう南北一体道路を整備し、駅前商店街と駅南地区がスムーズに人や車が行き交うことが出来る賑わいゾーンとして整備し、市街地の活性化を図る。	【小矢部都市計画区域マスタープラン】(H25) ・石動地域の市街地像 あいの風とやま鉄道石動駅北側では、中心市街地整備と併せて商業の活性化を図り、本区域の核にふさわしい拠点形成を目指す。駅南側については、駅前広場及びアクセス道路などの整備と併せて、居住機能や商業・業務機能などを計画的に配置し、調和のとれた利便性の高い市街地形成を図る。 また、中心市街地周辺部の低密度な住宅地については、面的整備の促進及び宅地化の促進によって、良好な居住環境の創出を目指す。	【国土利用計画】(小矢部市計画)(H22) ・石動駅周辺を中心とした地域では、賑わいの再生、定住の促進を図るため、駅南区画整理事業の進捗と合わせて石動駅南北の一体的な整備を進める。

都市再構築戦略事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・本市は、中部に石動、南東部に津沢と2つの中心市街地が形成されており、それぞれの生活拠点地域の郊外に文化施設である「クロスランドおやべ」や「おとぎの館」及び福祉施設である「総合保健福祉センター」を配置し、地理的優位性の偏在を是正している。
- ・石動市街地は、歴史的に本市の中心地区であったことから、鉄道駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、商店街や金融機関等を中心とした経済機能、図書館、小・中・高校、コミュニティー施設等の文教機能を有し、多くの人々が集散する地区であることから、都市機能を効果的に配置することにより、中心市街地の空洞化に歯止めをかけ機能再生を図る。
- ・津沢市街地との連携については、交通アクセスの整備により連携を強化し、利用者環境に配慮する。
- ・現在、石動駅南側において土地区画整理事業による街区の再編を図っており、南北間の移動性を高める通路や駅との合築施設等を整備することにより、集約型都市構造の実現と中心市街地の活性化及び地域コミュニティーの維持を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な中心拠点誘導施設及び生活拠点誘導施設の考え方

中心市街地に「中心拠点区域」を設定し、老朽化した図書館と石動駅を統合した新たな合築施設を整備する。
また、石動駅南側で進められていた土地区画整理事業も完成し、再編される区域と中心市街地を結ぶ南北自由通路や駐車場、プラットホーム階段を整備することで、南北一体化による鉄道利用者の利便性向上と中心市街地の活性化を図る。
加えて、中心市街地内に拡散している機能類似施設(公的コミュニティー施設等)を統合し、新たな合築施設を整備することで集約型都市構造の実現を図り、利便性の高い市街地形成を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するために必要な交付対象事業

都市再生土地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
市民図書館入館者数	人/年	小矢部市民図書館の年間利用者数	公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生	57,957	H25	70,000	H31
コミュニティー施設利用者数	人/年	(仮称)石動コミュニティプラザ利用者数 (石動コミュニティセンターと勤労青少年ホームの年間利用者数)	合築施設としての機能の確保と集約化	51,962	H25	52,000	H31
中心市街地通行者数	人/年	中心市街地の1日あたりの通行者数	中心市街地の活性化と賑わいの創出	265人/日	H26	350人/日	H31

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南北市街地の一体化と駅へのアクセス性向上 ・南北市街地の一体化と駅南側からの駅利用者のアクセス性向上を図るため、南北自由通路の整備を実施する。 ○駅利用者の利便性向上と交通結節機能の強化 ・石動駅利用者の利便性向上と交通の要衝である立地特性を踏まえた交通結節機能の強化を図るため、パーク&ライド等に対応した石動駅前広場並びに駅南駐車場の整備を実施する。また、駅南駐輪場の整備を実施する。 ・図書館や駅利用者の移動の快適性・利便性を図るため、跨線橋におけるプラットホーム階段の整備を実施する。 ○新たな拠点整備による賑わいの再生 ・石動駅との合築による新図書館の整備を実施することで、多くの人々が集い賑わいが創出される中心市街地の形成を図る。 ・交流の拠点として誰もが快適に安全に利用できるようにするため、駅北公衆トイレと駅南公衆トイレの整備を実施する。 ○公共交通利用者の中心市街地への誘導 ・公共交通利用者を中心市街地や観光スポットへ誘導するため、観光案内所の整備を実施する。 	<p>中心拠点誘導施設(教育文化施設):図書館 道路(都市再構築戦略事業):南北自由通路 道路(都市再構築戦略事業):石動駅前広場 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):駅北公衆トイレ 高次都市施設(観光交流センター):観光案内所 効果促進事業:駅南駐車場 効果促進事業:駅南駐輪場 効果促進事業:駅南公衆トイレ 効果促進事業:おやべ光のまちプロジェクト 効果促進事業:周遊提案チラシ事業 効果促進事業:事業活用調査</p>
<p>【都市機能集約化による中心市街地の賑わいの再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賑わい拠点の整備 ・都市機能の拡散につながることはないように機能が類似する施設を統合・改築し、都市機能の集約化を促進するとともに、新たな地域の賑わいを創出するため、地域交流センター(仮称)石動コミュニティプラザの整備を実施する。 	<p>高次都市施設(地域交流センター):(仮称)石動コミュニティプラザ</p>
<p>事業実施における特記事項</p> <p>【石動駅のバリアフリー化事業との連携による事業効果の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月に石動駅のバリアフリー化工事がJR西日本株により施工され、跨線橋やエレベーターが整備された。この事業と本市において施工が予定されている石動駅周辺整備事業と連携を図ることにより、一層の有効性、利便性が高まるものと考えている。 具体的には、軌道により分断されている南北地域を容易に移動ができる自由通路の整備、鉄道利用者の増加が期待されるパークアンドライド推進のための駐車場の整備が予定されている。 加えて、バリアフリー化事業により整備された跨線橋に新たにプラットホーム階段を整備することにより、駅利用者の利便性が飛躍的に高まり、事業効果の促進が期待される。 <p>【南北自由通路に観光案内所を併設することによる事業効果の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由通路のコンコースを活用し、観光案内所を整備することで、平成27年に開業した「三井アウトレットパーク北陸小矢部」に鉄道を利用して訪れる観光客を中心市街地へ誘導することにより、事業効果が一層高まることが期待される。 	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,706.4	交付限度額	1,823.6	国費率	0.492
---------	---------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	街道	南北自由通路	小矢部市	直	15m			27	29	295.9	295.9	295.9		295.9	—
道路	(都市再構築事業)	南北自由通路	小矢部市	直	100m			27	29	955.5	955.5	955.5		955.5	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		石動駅前広場	小矢部市	直	2,200㎡			28	31	227.4	227.4	227.4		227.4	—
高質空間形成施設		石動駅北公衆トイレ	小矢部市	直	64㎡			27	29	44.0	44.0	44.0		44.0	—
高次都市施設		地域交流センター	小矢部市	直	2,000㎡			30	31	849.0	849.0	849.0		849.0	—
高次都市施設		観光交流センター	小矢部市	直	40㎡			28	29	26.2	26.2	26.2		26.2	—
中心拠点誘導施設		教育文化施設(図書館)	小矢部市	直	1,700㎡			27	30	1,308.4	1,308.4	1,308.4		1,308.4	—
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										3,706.4	3,706.4	3,706.4	0.0	3,706.4	

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

提案事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造 支援事業															
事業活用調 査															
まちづくり活 動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	0
													合計(A+B)	3,706	

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれか〇)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
石動駅南駐車場整備事業	石動駅南駐車場	小矢部市	国土交通省	3800㎡		○			27	29	296
石動駅南駐輪場整備事業	石動駅南駐輪場	小矢部市	国土交通省	65㎡		○			27	29	9
石動駅南公衆トイレ整備事業	石動駅南公衆トイレ	小矢部市	国土交通省	50㎡		○			27	29	74
プラットホーム階段設置事業	石動駅	小矢部市	国土交通省	階段2基			○	○	27	29	160
石動駅舎改修工事	石動駅	小矢部市	国土交通省	500㎡			○	○	27	29	85
合計											624

市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

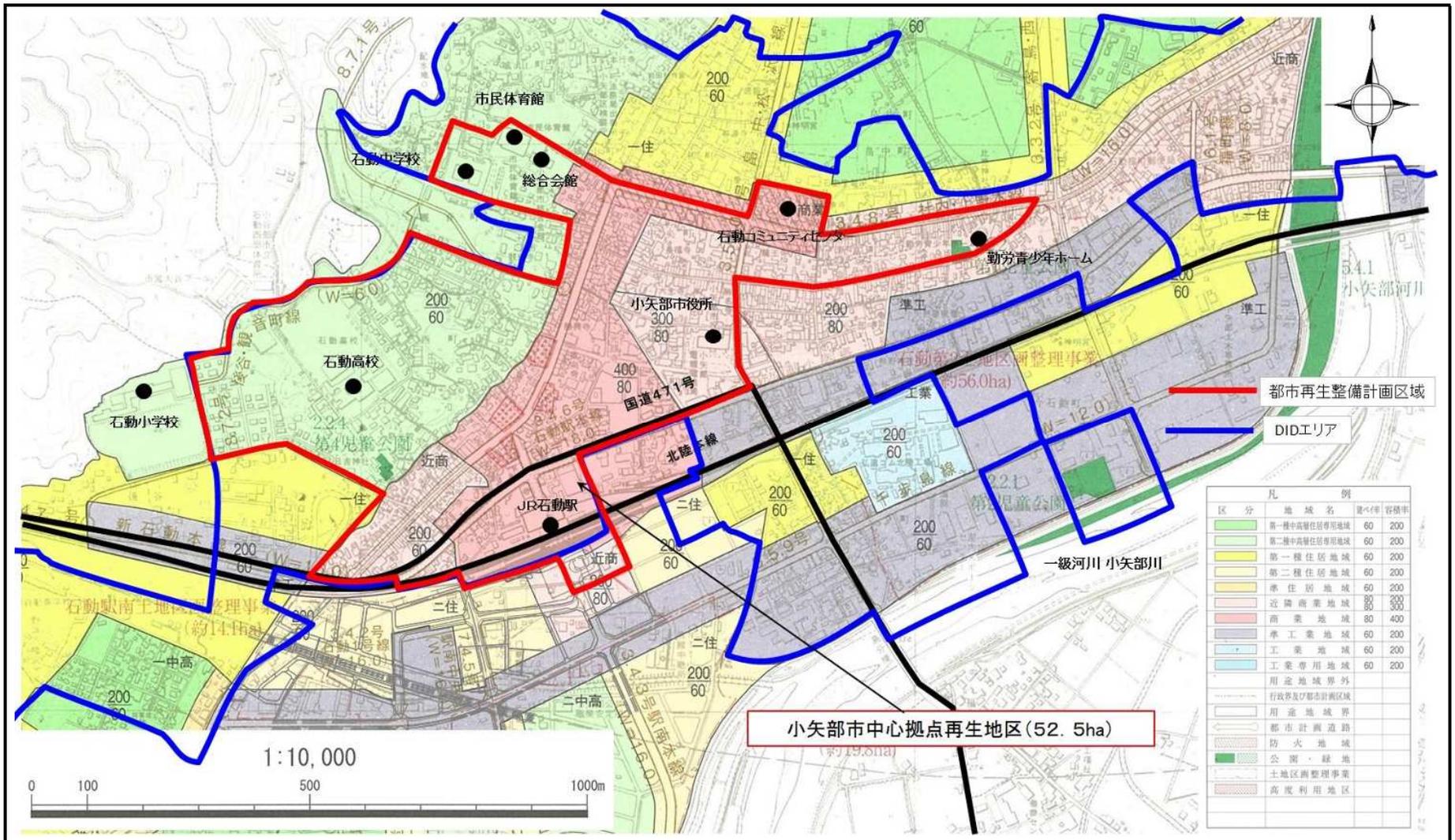
都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画の 公告(予定)年月日	都市計画の決定又は 変更の期限

市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容

都市再生整備計画の区域

小矢部市中心拠点再生地区(富山県小矢部市)	面積	52.5 ha	区域	西町、上野本の全部と城山町、今石動町1丁目、新富町、中央町、観音町、石動町、本町、小矢部町、後谷、野端の一部
-----------------------	----	---------	----	--



小矢部市中心拠点再生地区(富山県小矢部市) 整備方針概要図

目標	・公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生を図る。 ・公共施設の合築による都市機能集約化の促進を図る。 ・市内外からの外来者を中心市街地へ誘導し、中心市街地の「活性化」と「にぎわい」の創出を図る。	代表的な指標	市民図書館入館者数 (人/年)	57,957 (25年度) → 70,000 (31年度)
	コミュニティ施設利用者数 (人/年)		51,962 (25年度) → 52,000 (31年度)	
	中心市街地通行者数 (人/日)		265 (26年度) → 350 (31年度)	

